

平成 27 年に実施したウメ輪紋ウイルスの病気の発生に係る調査結果について

I. これまでの経緯

- 1 平成 21 年 4 月、東京都青梅市のウメでウメ輪紋ウイルス (plum pox virus (以下 PPV)) による病気 (ウメ輪紋病) の発生を確認した。
- 2 農林水産省では、同年 4 月から 11 月までの間、PPV の発生状況を確認するため、各都道府県と協力し、全国での発生状況調査及び発生範囲を特定するための調査を実施した。その結果、東京都では、青梅市の他、あきる野市、八王子市、奥多摩町及び日の出町のウメなどに感染を確認した。
- 3 平成 22 年 2 月 20 日、農林水産省は、PPV のまん延防止及び早期根絶を図るため、PPV の発生を確認した東京都青梅市、あきる野市等の 5 市町内に植物防疫法 (昭和 25 年法律第 151 号) に基づく緊急防除の防除区域を定めるとともに、防除を行う期間を平成 27 年 3 月 31 日までとして、PPV の宿主植物の移動規制及び感染植物等の処分などの防除を開始した。
- 4 平成 23 年 2 月 10 日、平成 22 年に実施した調査の結果を踏まえ、PPV のまん延リスクが高いと判断した東京都羽村市等の一部地域を防除区域に追加した。
- 5 平成 24 年 3 月 3 日、平成 23 年に実施した調査の結果を踏まえ、PPV のまん延リスクが高いと判断した東京都福生市の一部地域を防除区域に追加した。
- 6 平成 25 年 2 月 10 日、平成 24 年に実施した調査の結果を踏まえ、PPV のまん延リスクが高いと判断した東京都昭島市、兵庫県伊丹市、川西市、西宮市、宝塚市の一部地域を防除区域に追加した。
- 7 農林水産省では、平成 25 年においては、これまでと同様、①全国での発生状況調査 (広域調査) 及び②防除区域とその周辺地域での発生状況調査 (防除区域等調査) を実施するとともに、③兵庫県での発生を踏まえ、当該地域から過去に移動した調査対象植物の追跡調査を実施した。
- 8 平成 25 年 12 月 29 日、平成 25 年に実施した調査の結果を踏まえ、PPV のまん延リスクが高いと判断した大阪府富田林市等の一部地域を防除区域に追加した。
- 9 平成 26 年 12 月 28 日、平成 26 年に実施した調査の結果を踏まえ、PPV のまん延リスクが高いと判断した愛知県犬山市の一部地域を防除区域に追加するとともに、平成 24 年から平成 26 年までの調査結果を踏まえ、感染植物が確認されなかった東京都八王子市の一部地域を防除区域から除外した。また、防除を行う期間を平成 33 年 3 月 31 日まで延長した。
- 10 平成 28 年 3 月 6 日、平成 27 年に実施した調査の結果を踏まえ、PPV のまん延リスクが高いと判断した愛知県一宮市、犬山市、江南市、大口町、扶桑町、大阪府河内長野市、富田林市の一部地域を防除区域に追加するとともに、平成 25 年から平成 27 年までの調査結果を踏まえ、感染植物が確認されなかった東京都昭島市、八王子市、福生市、奥多摩町、兵庫県伊丹市、宝塚市の一部地域を防除区域から除外した。

II. 広域調査

緊急防除の防除区域以外の地域における PPV の発生状況等を把握するとともに、PPV のまん延を防止するため、全国 47 都道府県の生産園地や公園などにある植物について、PPV の感染の有無について調査した。

1 調査対象植物

ウメ、モモ、スモモ、セイヨウスモモ、ネクタリン、アンズ、オウトウその他の *Prunus* 属の植物（サクラ節を除く）

2 調査時期

平成 27 年 2 月～9 月

3 調査対象園地

(1) 全国調査

防除区域等調査の対象地域を除く全国の子な生産園地や観光園地など。

(2) 発生監視調査

昨年までの全国調査で感染植物が確認された 11 都府県の各園地及びこれらの園地で確認された感染植物から半径 1 km 以内にある生産園地、公園、民家など。

4 調査及び検定方法

(1) 農林水産省植物防疫所の植物防疫官及び都道府県の職員が、目視により葉の病徴の有無を調査した。

(2) 病徴が確認された植物（全国調査の場合は、病徴が確認されなかった場合でも各調査区域ごとに 5 本を無作為に選定）について、1 植物当たり 5 枚の葉を採取した。

(3) 採取した葉は、植物防疫所がイムノクロマト法で検定し、陽性又は疑陽性となったものは LAMP 法で確認検定を実施した。

5 調査結果（表 1 及び 2）

(1) 全国調査

全国 47 都道府県の主要な生産園地、観光園地等で調査を実施した結果、岐阜県池田町、愛知県一宮市及び大阪府堺市、大阪狭山市、東大阪市のウメで感染を確認したことから、これらの地域において感染植物特定調査を行った。

なお、確認された感染植物については、平成 28 年 3 月末までに防除対策（抜根・焼却・枝打ち。以下同じ）がなされた。

(2) 発生監視調査及び感染植物特定調査

平成 27 年までに広域調査で確認された感染植物から半径 1 km 範囲内にある園地を調査した。

また、今年度の全国調査で発生が確認された（1）の園地及びその周辺地域の感染植物特定調査を実施した。

調査の結果、東京都東久留米市、愛知県一宮市、岐阜県池田町、神戸町、三重県津市、滋賀県長浜市、大阪府大阪狭山市、河内長野市、堺市、東大阪市、八尾市、千早赤阪村及び和歌山県和歌山市の計 48 園地のウメ等 175 本で感染を確認した。これらの感染植物については、平成 28 年 3 月末までに防除対策がなされた。

なお、平成 26 年までの調査で感染植物が確認された園地及びその周辺地域のうち、茨城県古河市、水戸市、埼玉県加須市、新座市、東京都足立区、清瀬市、小平市、大阪府池田市、泉佐野市、柏原市、吹田市、豊中市、河南町、兵庫県三田市、猪名川町及び奈良県桜井市、奈良市では、新たな感染植物は確認されなかった。

表1-1. ウメ輪紋ウイルスの全国調査の結果(都道府県別)

平成27年度全国発生状況調査の結果(都道府県別)										
平成28年3月25日現在										
番号	都道府県	調査地域数	調査区域数	面積(ha)	植栽植物数	調査植物数	検定植物数	イムノクロマト陽性植物数	LAMP陽性植物数	感染が確認された植物数
1	北海道	14	25	39	11,992	1,270	125	0	0	0
2	青森県	17	29	21	19,834	5,783	140	0	0	0
3	岩手県	8	20	3	1,127	690	97	0	0	0
4	宮城県	16	18	5	1,020	673	87	1	0	0
5	秋田県	19	53	12	3,736	1,373	245	0	0	0
6	山形県	6	40	13	1,875	1,638	200	0	0	0
7	福島県	23	34	5	1,305	1,175	150	0	0	0
8	茨城県	14	44	9	149,216	22,543	190	0	0	0
9	栃木県	10	17	9	3,180	737	85	0	0	0
10	群馬県	15	22	6	1,896	759	106	0	0	0
11	埼玉県	16	31	6	2,460	1,015	160	0	0	0
12	千葉県	17	22	5	2,609	675	100	0	0	0
13	東京都	41	48	2	1,282	1,084	150	0	0	0
14	神奈川県	15	31	13	982	882	155	0	0	0
15	山梨県	20	23	90	25,544	1,035	130	1	0	0
16	長野県	24	26	6	10,524	801	128	0	0	0
17	静岡県	15	30	15	6,377	1,080	143	0	0	0
18	新潟県	15	21	4	981	750	104	2	0	0
19	富山県	14	23	7	1,429	816	115	0	0	0
20	石川県	4	20	2	814	571	100	0	0	0
21	福井県	10	20	87	25,230	1,179	100	0	0	0
22	岐阜県	11	22	8	912	716	110	1	1	1
23	愛知県	13	24	502	2,557	604	138	3	2	2
24	三重県	7	37	32	9,081	1,495	185	0	0	0
25	滋賀県	24	59	5	2,005	2,000	303	0	0	0
26	京都府	9	11	2	620	377	55	0	0	0
27	大阪府	14	14	1	705	55	54	12	12	12
28	兵庫県	35	35	123	27,435	5,514	126	0	0	0
29	奈良県	26	36	7	2,278	1,168	180	0	0	0
30	和歌山県	91	97	127	36,695	5,165	451	0	0	0
31	鳥取県	15	26	2	1,080	691	115	0	0	0
32	島根県	2	20	1	456	456	100	0	0	0
33	岡山県	25	27	9	7,160	6,870	129	0	0	0
34	広島県	8	16	2	516	516	80	0	0	0
35	山口県	8	15	3	584	584	75	0	0	0
36	徳島県	19	21	7	2,205	900	100	0	0	0
37	香川県	16	20	2	496	391	78	0	0	0
38	愛媛県	23	27	11	1,729	934	135	0	0	0
39	高知県	37	40	6	1,937	1,932	151	0	0	0
40	福岡県	20	23	4	17,185	17,002	100	0	0	0
41	佐賀県	7	18	2	906	636	90	0	0	0
42	長崎県	11	17	2	644	514	80	0	0	0
43	熊本県	9	20	3	706	686	100	0	0	0
44	大分県	7	15	2	1,139	445	75	0	0	0
45	宮崎県	10	16	4	1,081	519	80	0	0	0
46	鹿児島県	20	25	6	2,427	2,229	112	0	0	0
47	沖縄県	14	23	5	794	794	76	0	0	0
合計		814	1,301	1,235	396,746	99,722	6,088	20	15	15

注)大阪府については住民からの通報等による調査も含む

※ 調査地域数:ウメ・モモ・スモモ等の主要な果樹母樹園地、果樹用苗生産地域、果樹生産地域、観賞用苗等生産地域、観光園地等の数

調査区域数:調査地域内に設定した調査の単位(連続した園地)の数。

果樹母樹園地、観賞用苗等生産地域、観光園地は全園地、その他は抽出。

植栽植物数:調査区域内の宿主植物の総数。

調査植物数:目視調査を行った植物数。植栽植物数に応じて統計的に設定。果樹母樹園地は悉皆調査、その他は抽出調査。

検定植物数:PPV特有の症状又は疑似症状が見られたため、イムノクロマト法(または、ELISA法)及びLAMP法により検定を行った植物数。

表1-2. ウメ輪紋ウイルスの全国調査の結果(植物別)

	調査地域数	調査区域数	面積 (ha)	植栽植物数	調査植物数	検定植物数	イムノクロマト陽性植物数	LAMP陽性植物数 (感染植物数)
アーモンド	1	1	0	6	6	1	0	0
アンズ	14	13	5	745	423	42	0	0
ウメ	442	713	966	210,846	46,800	3,386	15	15
オウトウ	35	82	26	29,681	15,934	438	1	0
スモモ	94	142	19	27,814	9,793	600	0	0
セイヨウスモモ	9	11	0	3,723	783	27	0	0
ネクタリン	7	6	71	182	104	26	0	0
ハナモモ	2	2	1	241	241	7	0	0
プラム	1	1	0	1	1	1	0	0
ブルーベリー	6	14	5	2,117	620	67	0	0
ペニバスマモ	2	2	1	22	22	5	0	0
モモ	195	308	140	111,282	24,609	1,482	4	0
ユスラウメ	6	6	1	10,086	386	6	0	0
総計	814	1,301	1,235	396,746	99,722	6,088	20	15

表2-1. ウメ輪紋ウイルスの発生監視調査の結果(発生地域別)

都道府県	市区町村名	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト検定植物数	イムノクロマト陽性植物数	LAMP陽性(感染)植物数
茨城県	古河市	472	0	2,391	207	5	0
	水戸市	112	0	3,584	33	12	0
埼玉県	加須市	50	0	121	0	0	0
	新座市	91	0	459	0	0	0
東京都	足立区	29	0	112	2	0	0
	清瀬市	8	0	23	0	0	0
	小平市	312	0	900	33	5	0
	東久留米市	637	3	2,507	244	45	8
愛知県	一宮市※1	364	11	916	220	21	19
岐阜県	池田町	219	1	1,465	158	3	3
	神戸町※2	445	1	1,187	289	3	1
三重県	津市	129	1	965	109	6	6
滋賀県	長浜市	161	1	2,349	62	2	2
大阪府	池田市	26	0	97	61	0	0
	泉佐野市	269	0	545	112	0	0
	大阪狭山市	489	5	767	103	24	24
	柏原市	213	0	279	0	0	0
	河内長野市	730	17	1,215	254	27	27
	堺市	412	2	907	234	17	17
	吹田市	288	0	486	40	0	0
	豊中市	70	0	119	6	0	0
	東大阪市	523	1	1,032	98	39	39
	八尾市	23	2	67	27	25	25
	河南町	46	0	55	5	0	0
千早赤阪村	92	2	188	36	3	3	
兵庫県	三田市	36	0	74	0	0	0
	猪名川町	20	0	218	0	0	0
奈良県	桜井市	130	0	208	6	0	0
	奈良市	1,120	0	1,592	11	0	0
和歌山県	和歌山市	60	1	1,047	288	1	1
総計		7,576	48	25,875	2,638	238	175

注: 全国調査で確認された感染園地の結果を含む

※1 江南市を含む

※2 大垣市、瑞穂市を含む

表 2-2. ウメ輪紋ウイルスの発生監視調査の結果（植物別）

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	7,088	48	23,092	846	201	173
モモ	313	0	1,775	1,191	20	0
スモモ	58	0	359	204	11	0
アンズ	32	0	158	54	0	0
セイヨウスモモ	13	0	96	36	0	0
ユスラウメ	26	0※	117	66	2	2
アーモンド	0※	0	6	4	0	0
ネクタリン	2	0	11	8	0	0
ベニバスマモモ	2	0	82	81	0	0
サクラ亜属	29	0	171	145	4	0
種不明サクラ属	3	0	8	3	0	0
宿主植物なし	10	0	0	0	0	0
合計	7,576	48	25,875	2,638	238	175

※園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

III. 防除区域等調査

PPV の根絶を図るため、防除区域（東京都青梅市、愛知県犬山市、大阪府富田林市、兵庫県伊丹市等の全域又は一部地域）とその周辺（埼玉県飯能市、大阪府池田市等）の生産園地、民家などの植物を調査し、PPV の感染植物の特定を行った。

1 調査対象植物

ウメ、モモ、スモモ、セイヨウスモモ、ネクタリン、アンズ、オウトウその他の *Prunus* 属の植物（サクラ節を除く）

2 調査時期

平成 27 年 2 月～9 月

3 調査対象園地

植物防疫法に基づく緊急防除の防除区域及びその周辺の生産園地、民家、公園など。

4 調査及び検定方法

(1) 感染範囲特定調査

① 調査範囲

愛知県（犬山市、大口町、扶桑町）大阪府（富田林市、大阪狭山市、堺市、池田市）兵庫県（尼崎市、伊丹市、川西市、宝塚市、西宮市）の各市町の感染植物から半径 1 km 以上 2 km 以内の区域を南北 500m、東西 500m ごとのマス目で分画（500m グリッド）し、立ち入りができない又は調査対象がない山野を除いたグリッドを調査対象とした。

② 調査方法

ア 500m グリッド内に存在する対象植物が植栽された園地（普及指導員等からの疑似症状、類似症状の有無に係る情報及びこれまでの調査を基に原則として 2 カ所以上、対象植物 10 本以上を選定）について、PPV の病徴の有無を目視により調査した。

イ 対象植物に疑似症状又は類似症状が認められた場合、症状を有する葉を採取した。

ウ 採取した葉は、植物防疫所がイムノクロマト法で検定し、陽性又は疑陽性とな

ったものは LAMP 法で確認検定を実施した。

(2) 感染植物特定調査

① 調査範囲

これまでの調査で感染植物を確認した地点から半径 1 km 以内にある園地を対象とした。

② 調査方法

ア 調査範囲内の対象植物について、PPV の病徴の有無を目視により調査した。

イ 対象植物に疑似症状又は類似症状が認められた場合は、症状を有する葉を採取した。なお、委託業者が実施した場合には、病徴の有無にかかわらず全ての植物から、1 植物当たり 5 枚の葉を採取した。

ウ 採取した葉は、植物防疫所がイムノクロマト法で検定し、陽性又は疑陽性となったものは LAMP 法で確認検定を実施した。

(3) 根絶確認調査

1) 1 km 範囲内調査

① 調査範囲

これまでの調査で確認された感染植物を確認した地点から半径 1 km 以内にある園地（総植栽植物数のうち 1～2 年目は 20%、3 年目は 100%（全対象植物）にあたる園地）を対象とした。

② 調査方法

ア 調査範囲内の対象植物について、PPV の病徴の有無を目視により調査した。

イ 対象植物に疑似症状又は類似症状が認められた場合は、症状を有する葉を採取した。

ウ 採取した葉は、植物防疫所がイムノクロマト法で検定し、陽性又は疑陽性となったものは LAMP 法で確認検定を実施した。

2) 1 km 範囲外調査

① 調査範囲

これまでの調査で感染植物を確認した地点から半径 1 km 外にある園地のうち、各市町村ごとに無作為に選出した 30 園地以上を対象とした。

② 調査方法

(3) の 1) の②と同じ。

5 調査結果

調査結果を表 3～24 にとりまとめた。5 都府県の 18,789 園地、61,765 本の対象植物について調査を行った結果、1,008 本の感染植物を確認した。

総括表 ウメ輪紋ウイルス緊急防除区域等調査結果

都道府県	市区町村名	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
埼玉県	入間市※	77	0	258	20	2	0
	飯能市※	509	0	1,481	30	1	0
東京都	昭島市	296	5	771	33	12	8
	あきる野市	2,364	77	8,210	4,502	151	93
	青梅市	4,378	259	17,339	9,286	615	351
	八王子市	1,230	4	4,753	223	29	4
	羽村市	567	5	1,776	196	13	7
	福生市	244	2	839	88	6	2
	奥多摩町	319	1	1,295	61	2	1
	日の出町	208	5	1,315	38	13	10
愛知県	犬山市	1,066	59	3,598	1,081	111	108
	大口町※	116	3	244	31	3	3
	扶桑町※	247	47	653	257	131	126
大阪府	池田市※	175	0	229	0	0	0
	大阪狭山市※	138	0	200	0	0	0
	堺市※	18	0	21	0	0	0
	富田林市	951	37	2,093	705	137	137
兵庫県	伊丹市	1,653	52	4,281	4,020	80	76
	尼崎市	645	7	1,427	1,235	16	12
	川西市	824	14	3,879	3,421	30	18
	宝塚市	2,216	31	5,560	4,258	52	44
	西宮市※	548	5	1,543	978	8	8
総計		18,789	613	61,765	30,463	1,412	1,008
※緊急防除区域の周辺地域							

① 東京都昭島市における調査結果

根絶確認調査を行った4字では感染植物は確認されなかった。拝島町、松原町、緑町の3字で感染植物を確認した。

植物種ごとの調査内訳は、表3のとおり。

表3-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	266	5	651	23	11	8
モモ	19	0	65	7	0	0
スモモ	5	0	19	1	1	0
アンズ	5	0	17	1	0	0
セイヨウスモモ	0※	0	3	0	0	0
ユスラウメ	1	0	15	1	0	0
アーモンド	0	0	0	0	0	0
ネクタリン	0※	0	1	0	0	0
ベニバスマモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	0	0	0	0	0	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	296	5	771	33	12	8

※ 園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

表3-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

② 東京都あきる野市（檜原村含む。）における調査結果

根絶確認調査を行った14字では感染植物は確認されなかった。伊奈、引田、雨間、横沢、下代継、牛沼、山田、秋川、秋留、上ノ台、上代継、草花、二宮、野辺、油平、淵上の16字で感染植物を確認した。

植物種ごとの調査内訳は、表4のとおり。

表4-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	2,138	74	6,446	3,434	118	88
モモ	146	2	1,018	641	22	4
スモモ	29	0	261	114	4	0
アンズ	24	1	132	101	1	1
セイヨウスモモ	1	0	22	20	0	0
ユスラウメ	18	0	203	134	0	0
アーモンド	0※1	0	6	1	0	0
ネクタリン	0※1	0	1	1	0	0
ベニバスマモ	0※1	0	2	0	0	0
サクラ亜属	5	0	119	56	6	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
総計	2,361※2	77	8,210	4,502	151	93

※1 園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

※2 この他、対象植物が確認されなかった園地が3園地あり。

表4-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

③ 東京都青梅市における調査結果

根絶確認調査を行った16字のうち、今井、沢井、大門、谷野、成木、根ヶ布、藤橋、御岳、師岡町の9字で感染植物を確認した。また、黒沢、千ヶ瀬町、友田町、梅郷、畑中、東青梅、日向和田、二俣尾、御岳本町、柚木町、和田町の11字で感染植物を確認した。

植物種ごとの調査内訳は、表5のとおり。

表5-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	3,854	214	13,751	6,141	399	297
モモ	329	31	2,441	2,403	140	38
スモモ	42	2	341	208	19	2
アンズ	34	1	206	198	6	1
セイヨウスモモ	7	1	49	21	5	1
ユスラウメ	48	10	284	136	20	11
アーモンド	2	0	10	7	3	0
ネクタリン	0※1	0	4	2	1	0
ベニバスモモ	0※1	0	2	1	0	0
サクラ垂属	38	0※1	239	165	22	1
種不明サクラ属	2	0	12	4	0	0
総計	4,356※2	259	17,339	9,286	615	351

※1 園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

※2 この他、対象植物が確認されなかった園地が22園地あり。

表5-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

④ 東京都八王子市における調査結果

根絶確認調査を行った28字のうち、上壺分方町、左入町、大楽寺町の3字で感染植物を確認した。また、戸吹町の1字で感染植物が確認された。

植物種ごとの調査内訳は、表6のとおり。

表6-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	1,077	4	3,948	100	13	4
モモ	105	0	438	66	11	0
スモモ	13	0	106	16	1	0
アンズ	11	0	125	19	0	0
セイヨウスモモ	3	0	18	5	1	0
ユスラウメ	12	0	74	14	2	0
アーモンド	2	0	5	1	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスモモ	0※1	0	9	1	1	0
サクラ垂属	3	0	27	1	0	0
種不明サクラ属	3	0	3	0	0	0
合計	1,229※2	4	4,753	223	29	4

※1 園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

※2 この他、対象植物が確認されなかった園地が1園地あり。

表6-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

⑤ 東京都羽村市における調査結果

羽加美、羽中、羽西、羽東の4字で感染植物を確認した。
植物種ごとの調査内訳は、表7のとおり。

表7-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	501	4	1,344	56	8	6
モモ	30	0	217	66	2	0
スモモ	6	0	52	16	0	0
アンズ	16	0	65	24	0	0
セイヨウスモモ	0※1	0	15	6	0	0
ユスラウメ	11	1	63	19	1	1
アーモンド	0※1	0	1	1	0	0
ネクタリン	0※1	0	1	0	0	0
ベニバスモモ	0	0	0	0	0	0
サクラ垂属	1	0	18	8	2	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	565※2	5	1,776	196	13	7

※1 園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

※2 この他、対象植物が確認されなかった園地が2園地あり。

表7-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

⑥ 東京都福生市における調査結果

根絶確認調査を行った5字のうち、加美平、熊川の2字で感染植物が確認された。
植物種ごとの調査内訳は、表8のとおり。

表 8-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	223	2	686	32	3	2
モモ	10	0	74	24	3	0
スモモ	3	0	32	14	0	0
アンズ	5	0	19	9	0	0
セイヨウスモモ	1	0	9	2	0	0
ユスラウメ	0※1	0	10	5	0	0
アーモンド	0※1	0	1	1	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスモモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	0※1	0	8	1	0	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	242※2	2	839	88	6	2

※1 園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

※2 この他、対象植物が確認されなかった園地が2園地あり。

表 8-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

⑦ 東京都奥多摩町における調査結果

根絶確認調査を行った8字のうち、小丹波の1字で感染植物が確認された。
植物種ごとの調査内訳は、表9のとおり。

表 9-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	280	1	873	12	1	1
モモ	34	0	344	29	0	0
スモモ	0※	0	36	5	0	0
アンズ	1	0	11	5	0	0
セイヨウスモモ	2	0	6	0	0	0
ユスラウメ	0※	0	6	3	0	0
アーモンド	1	0	2	2	1	0
ネクタリン	0※	0	2	1	0	0
ベニバスモモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	1	0	15	4	0	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	319	1	1,295	61	2	1

※ 園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

表 9-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

⑧ 東京都日の出町における調査結果

根絶確認調査を行った2字のうち、大久野、平井の2字で感染植物が確認された。
植物種ごとの調査内訳は、表10のとおり。

表 10-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	189	5	1,139	24	11	10
モモ	15	0	110	11	2	0
スモモ	0※	0	24	0	0	0
アンズ	1	0	19	2	0	0
セイヨウスモモ	0	0	0	0	0	0
ユスラウメ	2	0	10	1	0	0
アーモンド	0※	0	1	0	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスモモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	1	0	12	0	0	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	208	5	1,315	38	13	10

※ 園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

表 10-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

⑨ 埼玉県入間市における調査結果

今年度の調査では、感染植物は確認されなかった。
植物種ごとの調査内訳は、表 11 のとおり。

表 11-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	66	0	202	5	1	0
モモ	7	0	23	5	1	0
スモモ	2	0	24	8	0	0
アンズ	1	0	2	0	0	0
セイヨウスモモ	0※1	0	3	1	0	0
ユスラウメ	0※1	0	2	0	0	0
アーモンド	0※1	0	1	0	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスモモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	0※1	0	1	1	0	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	76※2	0	258	20	2	0

※1 園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

※2 この他、対象植物が確認されなかった園地が1園地あり。

表 11-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

⑩ 埼玉県飯能市における調査結果

今年度の調査では、感染植物は確認されなかった。
植物種ごとの調査内訳は、表 12 のとおり。

表 12-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	431	0	1,142	5	0	0
モモ	61	0	243	13	0	0
スモモ	10	0	54	3	1	0
アンズ	1	0	22	4	0	0
セイヨウスモモ	0※1	0	1	0	0	0
ユスラウメ	4	0	17	5	0	0
アーモンド	0	0	0	0	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスモモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	1	0	2	0	0	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	508※2	0	1,481	30	1	0

※1 園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

※2 この他、対象植物が確認されなかった園地が1園地あり。

表 12-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

⑪ 大阪府池田市における調査結果

今年度の調査では、感染植物は確認されなかった。
植物種ごとの調査内訳は、表 13 のとおり。

表 13-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	175	0	229	0	0	0
モモ	0	0	0	0	0	0
スモモ	0	0	0	0	0	0
アンズ	0	0	0	0	0	0
セイヨウスモモ	0	0	0	0	0	0
ユスラウメ	0	0	0	0	0	0
アーモンド	0	0	0	0	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスモモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	0	0	0	0	0	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	175	0	229	0	0	0

表 13-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

⑫ 大阪府大阪狭山市における調査結果

今年度の調査では、感染植物は確認されなかった。
植物種ごとの調査内訳は、表 14 のとおり。

表 14-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	138	0	200	0	0	0
モモ	0	0	0	0	0	0
スモモ	0	0	0	0	0	0
アンズ	0	0	0	0	0	0
セイヨウスモモ	0	0	0	0	0	0
ユスラウメ	0	0	0	0	0	0
アーモンド	0	0	0	0	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスモモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	0	0	0	0	0	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	138	0	200	0	0	0

表 14-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

⑬ 大阪府堺市における調査結果

今年度の調査では、感染植物は確認されなかった。
植物種ごとの調査内訳は、表 15 のとおり。

表 15-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	18	0	21	0	0	0
モモ	0	0	0	0	0	0
スモモ	0	0	0	0	0	0
アンズ	0	0	0	0	0	0
セイヨウスモモ	0	0	0	0	0	0
ユスラウメ	0	0	0	0	0	0
アーモンド	0	0	0	0	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスモモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	0	0	0	0	0	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	18	0	21	0	0	0

表 15-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

⑭ 大阪府富田林市における調査結果

根絶確認調査等を行った結果、大字廿山、甲田、小金台、加太、北大伴町、新家、須賀、高辺台、廿山、津々山台、寺池台、西板持町、錦織北及び藤沢台の 14 字で感染植物が確認された。

植物種ごとの調査内訳は、表 16 のとおり。

表 16-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	877	31	1,828	500	119	119
モモ	50	0※	124	124	1	1
スモモ	1	0	20	20	0	0
アンズ	2	2	14	14	2	2
セイヨウスモモ	2	0	5	5	0	0
ユスラウメ	1	0	4	4	0	0
アーモンド	2	0	3	3	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスモモ	0※	0	1	1	0	0
サクラ亜属	1	0	4	4	0	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	936	33	2,003	675	122	122

※園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

表 16-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	14	4	83	23	15	15
モモ	0※	0	3	3	0	0
スモモ	1	0	1	1	0	0
アンズ	0※	0	1	1	0	0
セイヨウスモモ	0	0	0	0	0	0
ユスラウメ	0※	0	1	1	0	0
アーモンド	0※	0	1	1	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスモモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	0	0	0	0	0	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	15	4	90	30	15	15

※園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

⑮ 兵庫県尼崎市における調査結果

根絶確認調査を実施したが感染植物を確認したため、根絶確認調査を中断し、感染植物特定調査等を実施した結果、常吉、常松、西昆陽、武庫元町、武庫之荘の5字で感染植物が確認された。

植物種ごとの調査内訳は、表 17 のとおり。

表 17-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	483	7	946	764	12	12
モモ	94	0	247	247	2	0
スモモ	10	0	31	29	2	0
アンズ	13	0	38	36	0	0
セイヨウスモモ	1	0	3	3	0	0
ユスラウメ	20	0	51	50	0	0
アーモンド	8	0	30	30	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスマモ	1	0	4	2	0	0
サクラ亜属	8	0	42	42	0	0
種不明サクラ属	3	0	14	14	0	0
合計	641	7	1,406	1,217	16	12

表 17-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	3	0	13	10	0	0
モモ	1	0	5	5	0	0
スモモ	0※	0	1	1	0	0
アンズ	0	0	0	0	0	0
セイヨウスモモ	0	0	0	0	0	0
ユスラウメ	0※	0	1	1	0	0
アーモンド	0	0	0	0	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスマモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	0※	0	1	1	0	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	4	0	21	18	0	0

※園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

⑩ 兵庫県伊丹市における調査結果

根絶確認調査を行った 59 字のうち、萩野、萩野西、行基町、鴻池、昆陽、昆陽南、山田、寺本、春日丘、松ヶ丘、瑞原、瑞穂町、清水、西野、池尻、中野東、中野北、東野、野間北、緑ヶ丘、の 20 字で感染植物が確認された。また、安堂寺町、稲野町、南野で感染植物が確認された。

植物種ごとの調査内訳は、表 18 のとおり。

表 18-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	1,227	45	2,708	2,471	66	64
モモ	242	5	905	893	10	8
スモモ	25	0	97	95	0	0
アンズ	17	0	36	36	0	0
セイヨウスモモ	4	0※	27	27	1	1
ユスラウメ	67	2	166	165	3	3
アーモンド	12	0	34	32	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスモモ	2	0	2	2	0	0
サクラ亜属	32	0	137	137	0	0
種不明サクラ属	6	0	25	24	0	0
合計	1,634	52	4,137	3,882	80	76

※園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

表 18-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	7	0	26	20	0	0
モモ	8	0	103	103	0	0
スモモ	1	0	2	2	0	0
アンズ	1	0	1	1	0	0
セイヨウスモモ	0※	0	1	1	0	0
ユスラウメ	0※	0	4	4	0	0
アーモンド	0	0	0	0	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスモモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	2	0	7	7	0	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	19	0	144	138	0	0

※園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

⑰ 兵庫県川西市における調査結果

根絶確認調査を実施したが感染植物を確認したため、根絶確認調査を中断し、感染植物特定調査等を実施した結果、加茂、南花屋敷、久代、笹部、小戸の5字で感染植物が確認された。

植物種ごとの調査内訳は、表 19 のとおり。

表 19-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

樹種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	539	10	982	579	16	14
モモ	183	2	2,506	2,462	3	2
スモモ	4	0	36	36	0	0
アンズ	7	1	13	13	1	1
セイヨウスモモ	0※	0	6	6	0	0
ユスラウメ	52	1	124	122	1	1
アーモンド	0※	0	9	9	1	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスマモ	0※	0	3	1	0	0
サクラ亜属	32	0	171	167	8	0
種不明サクラ属	2	0	9	8	0	0
合計	819	14	3,859	3,403	30	18

※園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

表 19-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など

樹種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	3	0	16	14	0	0
モモ	1	0	3	3	0	0
スモモ	0	0	0	0	0	0
アンズ	0	0	0	0	0	0
セイヨウスモモ	0	0	0	0	0	0
ユスラウメ	1	0	1	1	0	0
アーモンド	0	0	0	0	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスマモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	0	0	0	0	0	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	5	0	20	18	0	0

⑩ 兵庫県宝塚市における調査結果

根絶確認調査を行った 52 字のうち、口谷東、安倉中、安倉南、安倉北、伊子志、高松町、小林、泉町、中山寺、中州、売布、米谷の 12 字で感染植物が確認された。また、仁川台、大成町、谷口町、武庫山の 4 字で感染植物が確認された。

植物種ごとの調査内訳は、表 20 のとおり。

表 20-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

樹種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	1,731	29	3,935	2,692	46	42
モモ	233	2	727	714	4	2
スモモ	31	0	185	174	0	0
アンズ	37	0	83	82	0	0
セイヨウスモモ	6	0	26	26	0	0
ユスラウメ	69	0	184	180	0	0
アーモンド	19	0	63	63	0	0
ネクタリン	1	0	4	4	0	0
ベニバスモモ	0※	0	3	3	0	0
サクラ亜属	30	0	169	167	2	0
種不明サクラ属	7	0	20	20	0	0
合計	2,164	31	5,399	4,125	52	44

※園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

表 20-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など

樹種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	37	0	105	77	0	0
モモ	7	0	19	19	0	0
スモモ	4	0	13	13	0	0
アンズ	0※	0	3	3	0	0
セイヨウスモモ	0※	0	2	2	0	0
ユスラウメ	0※	0	2	2	0	0
アーモンド	0※	0	2	2	0	0
ネクタリン	0※	0	1	1	0	0
ベニバスモモ	1	0	8	8	0	0
サクラ亜属	3	0	6	6	0	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	52	0	161	133	0	0

※園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

⑩ 兵庫県西宮市における調査結果

根絶確認調査を実施したが感染植物を確認したため、根絶確認調査を中断し、感染植物特定調査等を実施した結果、上之町、仁川町、段上町、日野町の4字で感染植物が確認された。

植物種ごとの調査内訳は、表 21 のとおり。

表 21-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

樹種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	437	5	1,132	585	7	7
モモ	69	0※	224	221	1	1
スモモ	6	0	29	29	0	0
アンズ	9	0	30	30	0	0
セイヨウスモモ	1	0	10	10	0	0
ユスラウメ	17	0	51	42	0	0
アーモンド	2	0	12	12	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスモモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	6	0	40	36	0	0
種不明サクラ属	1	0	15	13	0	0
合計	548	5	1,543	978	8	8

※園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

表 21-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

㊾ 愛知県犬山市における調査結果

根絶確認調査を実施したが感染植物を確認したため、根絶確認調査を中断し、感染植物特定調査等を実施した結果、羽黒稲葉西、羽黒、五郎丸、羽黒新田、橋爪、上野の6字で感染植物が確認された。

植物種ごとの調査内訳は、表 22 のとおり。

表 22-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

樹種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	904	52	1,590	213	105	105
モモ	124	6	1,933	794	3	0
スモモ	3	1	18	18	0	0
アンズ	3	0※1	8	8	2	2
セイヨウスモモ	1	0	2	2	0	0
ユスラウメ	2	0※1	9	8	1	1
アーモンド	0※1	0	3	3	0	0
ネクタリン	1	0	2	2	0	0
ベニバスモモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	2	0	10	10	0	0
種不明サクラ属	3	0	23	23	0	0
合計	1,043※2	59	3,598	1,081	111	108

※1 園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

※2 この他、対象植物が確認されなかった園地が23園地あり。

表 22-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

㉑ 愛知県大口町における調査結果

感染植物特定調査等を行った結果、河北の1字で感染植物が確認された。
植物種ごとの調査内訳は、表23のとおり。

表23-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	114	2	181	5	3	3
モモ	1	1	60	24	0	0
スモモ	0	0	0	0	0	0
アンズ	0	0	0	0	0	0
セイヨウスモモ	0※	0	1	0	0	0
ユスラウメ	0	0	0	0	0	0
アーモンド	0	0	0	0	0	0
ネクタリン	0	0	0	0	0	0
ベニバスマモモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	0	0	0	0	0	0
種不明サクラ属	1	0	2	2	0	0
合計	116	3	244	31	3	3

※ 園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

表23-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

㉒ 愛知県扶桑町における調査結果

感染植物特定調査等を行った結果、高木、高雄、斎藤、山那、小淵、南山那、柏森の7字で感染植物が確認された。
植物種ごとの調査内訳は、表24のとおり。

表24-1. 果樹生産園地、公園、民家の庭、街路樹など

植物種	調査園地数	感染園地数	調査植物数	イムノクロマト 検定植物数	イムノクロマト 陽性植物数	LAMP陽性 (感染)植物数
ウメ	232	47	436	149	125	125
モモ	11	0	177	68	1	0
スモモ	0※	0	3	3	0	0
アンズ	1	0	4	4	0	0
セイヨウスモモ	0	0	0	0	0	0
ユスラウメ	1	0※	6	6	1	1
アーモンド	0	0	0	0	0	0
ネクタリン	0※	0	1	1	0	0
ベニバスマモモ	0	0	0	0	0	0
サクラ亜属	2	0	26	26	4	0
種不明サクラ属	0	0	0	0	0	0
合計	247	47	653	257	131	126

※ 園地に複数の調査対象植物が混植されていた場合には、最も植栽数が多い植物種の園地に計上した。

表24-2. 苗生産園地、切り枝生産園地など：なし

IV. まとめ

- 1 農林水産省では、各都道府県の協力により平成 27 年においても、PPV の発生状況を把握するとともに、まん延を防止するため、広域調査（全国調査、発生監視調査等）及び防除区域等調査を実施した。
- 2 広域調査では、これまでに実施した調査で感染植物を確認した東京都東久留米市（3 園地、8 本）、三重県津市（1 園地、6 本）、滋賀県長浜市（1 園地、2 本）、大阪府大阪狭山市（5 園地、24 本）、河内長野市（17 園地、27 本）、堺市美原区（1 園地、2 本）、八尾市（2 園地、25 本）、千早赤阪村（2 園地、3 本）和歌山県和歌山市（1 園地、1 本）において新たな感染植物を確認するとともに、新たに岐阜県池田町（1 園地、3 本）、神戸町（1 園地、1 本）、愛知県一宮市（11 園地、19 本）、大阪府堺市堺区（1 園地、15 本）、東大阪市（1 園地、39 本）のウメ等で感染を確認した。
なお、PPV の感染が確認された園地及びその周辺地域については、感染植物が処分された後の再発生を監視する調査を継続して実施することとしている。
- 3 防除区域等調査では、東京都昭島市（5 園地 8 本）、あきる野市（77 園地 93 本）、青梅市（259 園地 351 本）、八王子市（4 園地 4 本）、羽村市（5 園地 7 本）、福生市（2 園地 2 本）、奥多摩町（1 園地 1 本）、日の出町（5 園地 10 本）、愛知県犬山市（59 園地 108 本）、大口町（3 園地 3 本）、扶桑町（47 園地 126 本）、大阪府富田林市（37 園地 137 本）、兵庫県尼崎市（7 園地 12 本）、伊丹市（52 園地 76 本）、川西市（14 園地 18 本）、宝塚市（31 園地 44 本）、西宮市（5 園地 8 本）において感染植物を確認した。
- 4 農林水産省では、平成 27 年 10 月 16 日に開催された「平成 27 年度国内で発生が確認されたウメ輪紋ウイルスに関する対策検討会」で得られた専門家の意見等を踏まえ、平成 27 年の全国調査等で PPV の感染植物が発見された愛知県一宮市、犬山市、江南市、大口町、扶桑町、大阪府河内長野市、富田林市の一部地域については、潜在的に PPV のまん延リスクが高いと判断し、平成 28 年 3 月 6 日にプラムポックスウイルスの緊急防除に関する省令、告示の改正を行い、これらの地域を防除区域に追加した。一方で 3 年間の根絶確認調査で感染植物が確認されなかった東京都昭島市、八王子市、福生市、奥多摩町、兵庫県伊丹市、宝塚市の一部地域については防除区域から除外した。
なお、東京都東久留米市、岐阜県池田町、神戸町、三重県津市、滋賀県長浜市、大阪府大阪狭山市、堺市、東大阪市、八尾市、千早赤阪村、和歌山県和歌山市については、感染範囲が限定的であること、感染植物の処分が早期に完了すること、引き続き緊急防除と同等の防除措置が講じられることなど、緊急防除と同等以上のリスク管理措置が講じられると判断し、防除区域に追加されていない。
- 5 農林水産省では、引き続き各都道府県の協力の下、広域調査及び防除区域等調査を実施することとしている。